

埼玉県議会議員(無所属・大宮)

No.005号

藤井たけし

県議会 レポート



未来への投資予算

元気な埼玉県

現在、埼玉県はとても元気です。

人口の増加率は、沖縄県、東京都に次いで第3位。企業の本社転入超過数(入ってきた企業から出ていった企業を差し引いた数)では平成20年~29年までの10年間で、純増が861社で日本一を誇ります。

埼玉県の強みはたくさん挙げられますが、首都東京に隣接された立地や、災害への強さ、また6つの高速道路、新幹線6路線など交通ネットワークなどが強みです。交通網では、長年取り組んでこました外環道の三郷南ICから高谷JCTまでの開通が6月に決まりました(詳細は裏面)。

はじめて直面する大きな課題

そんな元気な埼玉県ですが、課題がないわけではありません。

日本全体ではもうすでに、人口の減少がはじまっていますが、埼玉県でも間もなく減少に転じると推定されており、特に埼玉県の高齢者人口の急速な増加は、日本でもトップスピードと言われています。その一方で本県でも、生産年齢人口(15~64歳のいわゆる働き手)はこの15年間で50万人減少するなど、人口構造の大転換という大きな課題に直面します。

平成30年度県予算の成立

こうした中、平成30年2月定

例会では、平成30年度予算を、「未来への投資予算」と位置付けて成立させていただきました。

人口構造の大転換という課題に、世界の中でもいち早く直面するわけですが、困難の中にあつて努力を重ねることによって、新たな技術の進展や組織改革を、私たちは行ってきました。

人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)の活用を進める「スマート社会へのシフト」を含む3つの柱を打ち立てる中、県政史上3番目の大型予算となりました。

議会としての主な取り組みは、医療計画と高齢者支援計画を連動させるための「埼玉県地域保

健医療計画特別委員会」の設置。また、「犯罪被害者等支援条例」、安定した種子の提供を継続していくための「埼玉県主要農作物種子条例」などの議員提案条例が可決されましたが、推進する立場で取り組ませていただきました。

長丁場と言われる2月定例会議は3月27日で閉会。これまでの「県土都市整備委員会」、「地方創生・行政改革特別委員会」から、新年度は「産業労働企業委員会」、「少子・高齢福祉社会対策特別委員会」へと委員会所属をあらたに活動へとスタートします。

どんなことでも、ご意見ご質問ご要望などございましたら、お気軽にご連絡をいただければ幸いです。お一人おひとりの期待と信頼にお応えするべく、しっかりと取り組んで参ります。引き続きのご指導と鞭撻をお願い申し上げます。



プロフィール 1975年(昭和50年)生まれ A型 うさぎ年 日本大学文学部卒業。埼玉県議会議員(南第5区・大宮区)現在1期目。産業労働企業委員会、少子・高齢福祉社会対策特別委員会
経歴・資格 参議院議員 元公設第一秘書、上田清司埼玉県知事 元事務所長、清水勇人さいたま市長 元政務秘書 大宮南小学校PTA元会長、大宮南中学校PTA会長、青少年育成会役員、社会福祉協議会(大宮南地区)、明日のさいたまを創る会副会長 埼玉県認知症サポーター、さいたま市防災アドバイザー 国会議員政策担当秘書資格、防災士など。
[家族] 妻、娘[好物] カレー、納豆[好きなこと] 読書、運動(サッカー、ラグビー)、現在はマラソンとグラウンドゴルフに挑戦中。

未来への投資予算

47-100歳 高齢者対策
子育て支援
子育て支援
子育て支援

史上3番目の大型予算!

1.一般会計予算
1兆8,657億6,000万円(前年比0.1%増 29年度 1兆8,644億2,700万円)

2.全会計予算
3兆3,926億2,570万円(前年比23.9%増 29年度 2兆7,371億3,899万9千円)

年度	23	24	25	26	27	28	29	30
予算額	16,899	16,777	16,757	17,299	18,290	18,805	18,644	18,358
伸び率	0.8	▲1.7	▲0.1	3.2	5.7	2.8	▲0.9	0.1

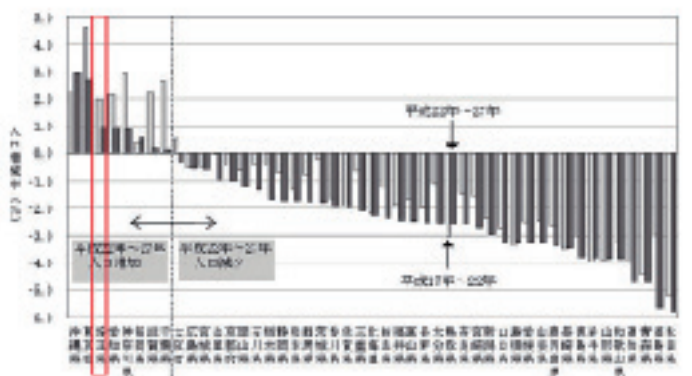
高齢人口の急速な増加

高齢者(65歳以上) (単位:万人)					後期高齢者(75歳以上) (単位:万人)						
順位	都道府県	2010年(平成22年)	2025年(平成37年)	増加数	増加率	順位	都道府県	2010年(平成22年)	2025年(平成37年)	増加数	増加率
1	沖縄県	24.3	35.3	11.0	46%	1	埼玉県	58.9	117.7	58.8	100%
2	埼玉県	147.0	196.2	51.2	36%	2	千葉県	56.3	108.2	51.9	92%
3	千葉県	133.9	179.8	45.9	34%	3	神奈川県	79.4	148.5	69.1	87%
4	神奈川県	183.0	244.8	61.8	34%	4	大阪府	84.3	152.8	68.5	81%
5	滋賀県	29.2	38.5	9.3	32%	5	愛知県	66.0	116.6	50.6	77%

(注) 年齢不詳人口は、総人口に占める構成比により按分

(社人研「日本の地域別将来推計人口」を基に作成)

人口増加率は全国第3位(国勢調査2015より)



将来を担う責任! 挑戦する勇氣!